問う！ 深谷市の保育料滞納の状況

五間くみ子

問 深谷市における認可保育園の滞納状況と対策を聞きたい。

答 平成18年度までの未納金額は約5600万円、620件で365人の未納者がおります。現在の対策としては、口座振替の推進を図り、未納発生の翌月には督促状を送付し、納付を促しております。

滞納者に対しては、電話、訪問等を行い徴収しております。今後、悪質な滞納者に対しては、地方税法に基づいた滞納処分も視野に入れ、納付交渉をしてまいります。

少子化対策の更なる拡充を求む

問 少子化対策という観点から、第3子以降の保育料の無料化を更に推進することはできないか。多産世帯に対する手厚い経済的支援を要望するが、その考えは？

答 第3子の保育料を無料にした場合の財政負担は、概算で7783万円となります。またサービスの均衡も考えていかなくてはなりません。しかしながら、厚生労働省の発表した「合計特殊出生率」が1・32となったことは、第3子以上が増えたことで、出生率を押し上げたとの分析もされていることから、今後、財政的負担も含め、子育て環境の整備、福祉、教育、労働環境等、様々な観点からの整備が必要であると考えられます。子育て環境全体を視野に入れ、先進都市の取り組み状況を含め、多方面から研究をしてまいります。

総合支所等の検討には旧3町住民に十分な配慮を

田島　信吉

問 この4月から、旧3町に置かれていた総合支所の機能の約半数が市役所に統合された。しかし、市民や自治会等への事前の説明はなく、住民が知ったのは実施前月の市の広報であった。

合併に際し、旧3町役場は一部を除き総合支所として存続する、として説明されていた住民は、合併1年余りの大幅な本庁集約に驚き困惑している。さらに、市の行財政改革プランには、総合支所の集約や、新市庁舎の検討が計画されているが、市職員適正化計画の削減目標数値は、更なる総合支所の縮小を前提としているのか聞きたい。

答 市の業務全般を対象としたもので、特に総合支所の縮小を見込んだものではありません。

問 今後の総合支所や新市庁舎の検討には、特に旧3町の住民意思の把握や、十分な説明と配慮が必要だと考えるが、市の方針を聞きたい。

岡部総合支所

答 現在の総合支所には、住民に直結する窓口業務があり、今後、さらに集約というような事態となったときには、住民に説明し納得を得られるよう進めてまいります。また、今後の総合支所の関係は、様々な機会を通じ、ご意見・ご要望を寄せていただき把握していきます。

行政は合併後、集約や削減等に際して、十分な説明責任を果たしていないと感じています。今後実施するには、その経緯や理由等、住民皆様の心情を考えながら、執行部としての説明責任を果たしてまいります。

深谷市の道路行政について

髙田　博之

問 道路整備の指針は決まっているのか。

答 道路は生活や生産基盤の骨格を成すものです。市では充実した市民生活の確保と均衡ある発展を図るべく、幹線道路は深谷市総合振興計画や基本計画に基づき整備を進めていきます。生活道路につきましては、自治会要望に基づき整備を進めてまいります。

問 整備についてのランクづけはどのようにするのか。

答 生活道路の整備については自治会の優先順位に基づき、予算の状況、地域のバランスに配慮しながら、緊急性、必要性、事業効果などを判断し、整備を実施してまいります。

問 カントリーエレベーターからの入り口の道路について拡幅整備は。

答 市道B―370号として認定されており、このたび、集落排水処理場への下水管の建設に伴って拡幅するものです。道路計画に基づいて実施するものではなく、あくまで農業集落排水処理場のための道路として今回計画したものです。

市道B―370号線

通学路の整備を重点的に

飯野　広

市道幹41号線（清心寺付近）

問 子どもたちの登下校の安全性を高めるため、道路整備の優先性に重点を置き、別枠での対処や制度の手直しをするべきでは。

答 今後も自治会からの要望や教育委員会・各学校からの情報をもとに、危険度の高い所から優先して整備をしてまいります。

問 平成12年の陳情以来、市道幹41号線の清心寺付近の交差点からJR高崎線を通り中山道までの通学路の整備が待たれているが。

答 安全性を考慮し整備に向けて検討してまいります。

公共下水道整備計画について

問 20年度から4年間の計画の中で上野台・萱場・見晴町・宿根・東方地区の整備促進を図るべきと思うが。

答 すでに認可を受けている地域を中心に取り組んでまいります。

問 整備が遅れている地域に浄化槽などのくみ取りに補助を出す救済策を。

答 考えておりません。

深谷市田中・長在家保育園2園統合建設位置は？

永田　勝彦

問 2園の統合保育園建設場所を深谷市上原「農業集落排水処理施設」の隣地「上原農村公園」に決定したと聞くが、2園の統合位置としては片寄りが見られる。加えて多くの市民が承知している臭気の点が大いに危ぶまれる。そこでもくせい館隣地等の活用は。

上原農村公園

答 「上原農村公園」は市有地であり、取得費が削減できます。臭気については個人差・気象状況によります。臭気の調査を踏まえ対策を検討します。瀬山・川本明戸の遠距離になる点は、選定理由を保護者に説明していきます。もくせい館隣接市有地等は「上原農村公園」の臭気の結果を待って改めて検討します。

深谷市本田八幡地区排水

問 深谷市本田八幡地区家庭雑排水の処理に住民は困窮している。今後の取り組みは。

答 八幡地区は公共下水道整備計画区域であります。今後は認可を受けている区域・都市計画決定区域の後、事業計画等の法的手続を図り順次進めていきます。

菊地プレス工業進出の詳報

問 深谷市白草台工業団地へ菊池プレス工業が進出した。それ以前に上本田公会堂において総合政策部並び菊地プレス工業関係者により棒田地区民有地進出の希望があるとして地元説明会を開催した。市として出席した多くの付近住民に経過等説明を行っていないが、市民への配慮に欠ける。

答 地元説明は必要であり、調整して進めてまいります。

〈議会あれこれ こたえ …平成19年8月1日現在、市議会議員の平均年齢は55・4歳です。〉